

ストレスケア病棟における ダイエットプログラムの試み ～専門性を活かした多職種の間わり～

医療法人社団 五稜会病院

○谷口沙妃、矢崎秀幸、斉藤敦子、越前谷めぐみ、中島 公博

平成22年2月6日 第30回札幌市病院学会

はじめに

- ★近年、ストレスが多くの疾患と結び付いていることが明らかにされつつあり、肥満もそのひとつである。当院でも肥満を解消したいと言う声が多く聞かれている。
- ★今回、ストレスケア病棟に入院したうつ病圏の肥満を呈した患者に対して、うつ病に対する治療と並行して個別ダイエットプログラムを試みた。
- ★そこで得られた結果から、多職種で行ったアプローチの振り返りを行い、考察したため報告する。

病棟概要

ストレスケア病棟：開放病棟
 病床数：48床
 平均年齢：約34歳（2009年）
 平均在院日数：約54日（2009年）
 対象疾患：うつ病、ストレス関連疾患、摂食障害
 パニック障害、強迫性障害など



症例紹介

反復性うつ病性障害
 認知症の母の介護から疲労感が強まり抑うつ状態。
 全身倦怠感、家事が出来ない
 うつ症状による運動不足と高カロリーな食事で2年間で20Kg体重増加

60Kg台まで
 痩せたい!!

50歳代
 女性

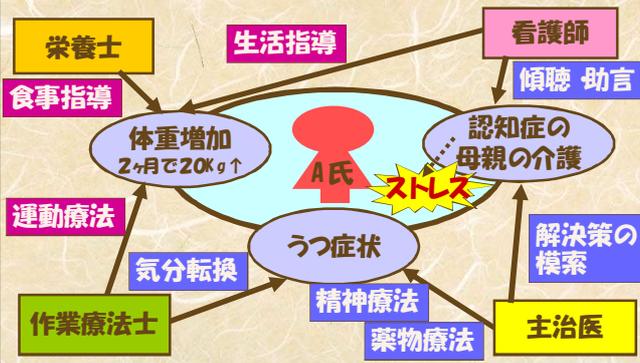
身長 158 cm
 体重 86.4 kg

BMI 34.6
 重度の肥満)

精神療法 薬物療法開始後
 症状が軽減し活動性が出てきたため
 ダイエットプログラム導入

A氏に対するアプローチ

ダイエットプログラム うつ症状に対するアプローチ



結果

5週間の
 ダイエットプログラム
 体重 36.4 kg BMI 34.6 3.4 kg減 体重 33.0 kg BMI 33.4

- ★間食が低カロリーのものになり、量が減った。
- ★高カロリーのものは控えるようになった。
- ★咀嚼回数が増え、ゆっくり食事をすることも習慣化した。
- ★運動療法への参加頻度が増加した。
- ★活動中、笑顔が見られるようになった。
- ★母親の認知症への対応の仕方が身についた。
- ★母親が老人ホームに入居できるようになった。

考察

ストレスケア病棟におけるダイエットプログラムのポイント



うつ病の治療とダイエットプログラムを平行して行うことが
良い結果をもたらしたのではないかと

おわりに

- ★今回、うつ病に対する治療と個別ダイエットプログラムを並行して行うことによって、相乗効果が得られた。
- ★今後も、うつ病と肥満の両方にアプローチが必要な方に対して、様々な面から多職種が専門性を活かし、対象者ひとりひとりに合った関わりを行っていきたいと思う。